

日本ライフストーリー研究会 特別研究会

みんなでじっくり語り合おう VOL.2

「ライフストーリー研究における調査者としての私」

調査研究においては、調査者と調査協力者の関係は「聞くー語る」という非対称な関係にとどまりません。インタビューを基礎とするライフストーリー研究は、民族、ジェンダー、セクシュアリティ、階層などの差違、障害の有無、マジョリティ-マイノリティ、差別-被差別などの非対称な関係の中で行われます。では、ライフストーリーを聞く「私」は、語り手の調査協力者との間にどのような関係を作り上げているのでしょうか。またそのときの「私」は何者なのでしょう。調査協力者と非対称な関係にある「私」をあらためて問い直してみることで、インタビューの権力性、危うさ、そしておもしろさを考えてみるのが、今回のテーマになります。調査者自らの視座を反省的に捉え直し、変容させ、社会問題へリンクする可能性を探ります。

異なる分野の研究者から基調報告をいただき、それらをもとに参加者同士、じっくり語り合いませんか。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

2024年1月21日(日曜日) 13時30分~17時

オンライン(ZOOM)・来所(若干名)にて開催します。(参加費無料)

【総合司会 山田富秋(松山大学)】

1. あいさつ

2. 報告(各30分・質疑応答含む)

① 佐藤正則 (JALAS 横浜・山野美容芸術短期大学)

「日本語教師でもあり研究者でもある私のポジショナリティ」

② 山本佳世乃 (岩手医科大学)

「ライフストーリーについて ー人生の物語の編集から解放へ」

③ 西倉実季 (東京理科大学)

「ライフストーリー研究者の役割 ーマジョリティがマイノリティの語りを聞く場合」

3. ブレイクアウトセッション(30分)

4. 全体討議(60分)

5. 総括(15分)

*お申し込みは日本ライフストーリー研究所のホームページから、1月14日までにエントリーください。

Email: jlrsr_info@lifestory.or.jp HP: <http://lifestory.or.jp>



一般社団法人

日本ライフストーリー研究所

Japan Life Story Research Institute

